News Release

２０２６年１１月６日

4社連携により食品物流のモーダルシフトを推進

～31ft冷凍コンテナのラッピングコンテナを製作～

日本貨物鉄道株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼社長執行役員：犬飼　新、以下「ＪＲ貨物」）、株式会社ナカムラロジスティクス（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：中村 剛喜）、博多運輸株式会社（本社：福岡県福岡市博多区、代表取締役社長：渡邊 智大）、および全国通運株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：吉澤 淳）の４社は、３１フィート冷凍コンテナを活用し、食品物流の鉄道へのモーダルシフトを推進します。また本取組みの一環として、このたびラッピングコンテナを製作しました。



31フィート冷凍コンテナ（左右で異なるラッピングデザイン）

１．背景・概要

2024年より、ナカムラロジスティクスと博多運輸は、31フィート冷凍コンテナを活用したラウンド輸送（※）を実施し、食品物流分野におけるモーダルシフトを推進してきました。

本取組みでは、九州から関東への冷凍食品輸送と、関東から九州への冷凍食品輸送を組み合わせ、31フィート冷凍コンテナによる往復の鉄道輸送を実現しています。

ナカムラロジスティクスは福岡県内の集荷地と千葉県内の納品先との調整を担当し、博多運輸は集荷地から発駅（福岡貨物ターミナル駅）までの集貨および着駅（東京貨物ターミナル駅）から納品先までの配送を担当します。ＪＲ貨物は鉄道輸送を担い、全国通運はコンテナの調達を担当しています。

なお、本取組みは2025年6月、「第26回物流環境大賞」（主催：日本物流団体連合会）において、サステナブル活動賞を共同受賞しました。

（※）往路の輸送後、復路でも貨物を積載して出発地へ戻る輸送方式

２．効果

本取組みにより、輸送に伴うCO2排出量を、従来のトラック輸送と比較して約84%削減することが可能となります。また、トラックドライバーの運行時間についても、１運行あたりの拘束時間が約13時間（休憩含む）の削減効果が見込まれます。

2026年4月の改正物流効率化法の施行により、荷主にも物流の効率化に向けた責任が定められる中、本取組みは環境負荷低減と物流効率化の両面で効果を発揮しています。

３．ラッピングコンテナお披露目式

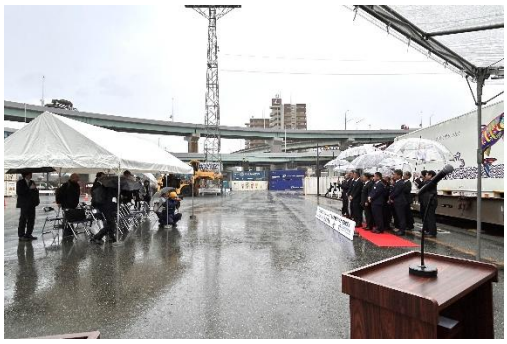
ラッピングコンテナの完成を記念し、4 社の代表が出席のもと、ＪＲ貨物福岡貨物ターミナル駅においてお披露目式を開催しました。

今回製作したラッピングコンテナは、ナカムラロジスティクスが長年培ってきた食品物流の世界観を表現したもので、鉄道輸送の魅力や可能性を広く発信し、食品物流におけるモーダルシフトの拡大につなげることを目的としています。

ナカムラロジスティクス、博多運輸、ＪＲ貨物および全国通運は、これからも互いに連携して取り組み、お客さまの多様なニーズに応えながら、持続可能で効率的なコールドチェーンを提供してまいります。



テープカットの様子



式典の様子

【会社概要】

Nakamura Logistics Inc.	株式会社ナカムラロジスティクス 1919 年の創業以来、食品物流分野で培ったノウハウを活かし、保管・輸送・流通加工まで一貫した物流サービスを提供しています。モーダルシフトの推進を通じて、持続可能なコールドチェーンの実現に取り組んでいます。
博	博多運輸株式会社 九州・福岡を拠点に創業 100 周年を迎え、輸送・倉庫・通関の一貫輸送体制により、地域経済の発展を支える物流サービスを提供しています。
JR JR貨物	日本貨物鉄道株式会社 全国ネットワークで貨物鉄道輸送を担う国内唯一の鉄道会社であり、不動産事業ノウハウも活かし、安全・安心な物流サービスを提供する総合物流企業グループです。
全国通運株式会社	全国通運株式会社 全国の鉄道利用運送事業者の共同出資により設立。ＪＲ貨物の出資も受け、強固な代理店ネットワークで鉄道利用運送事業を主軸に多様な物流ニーズに応えます。